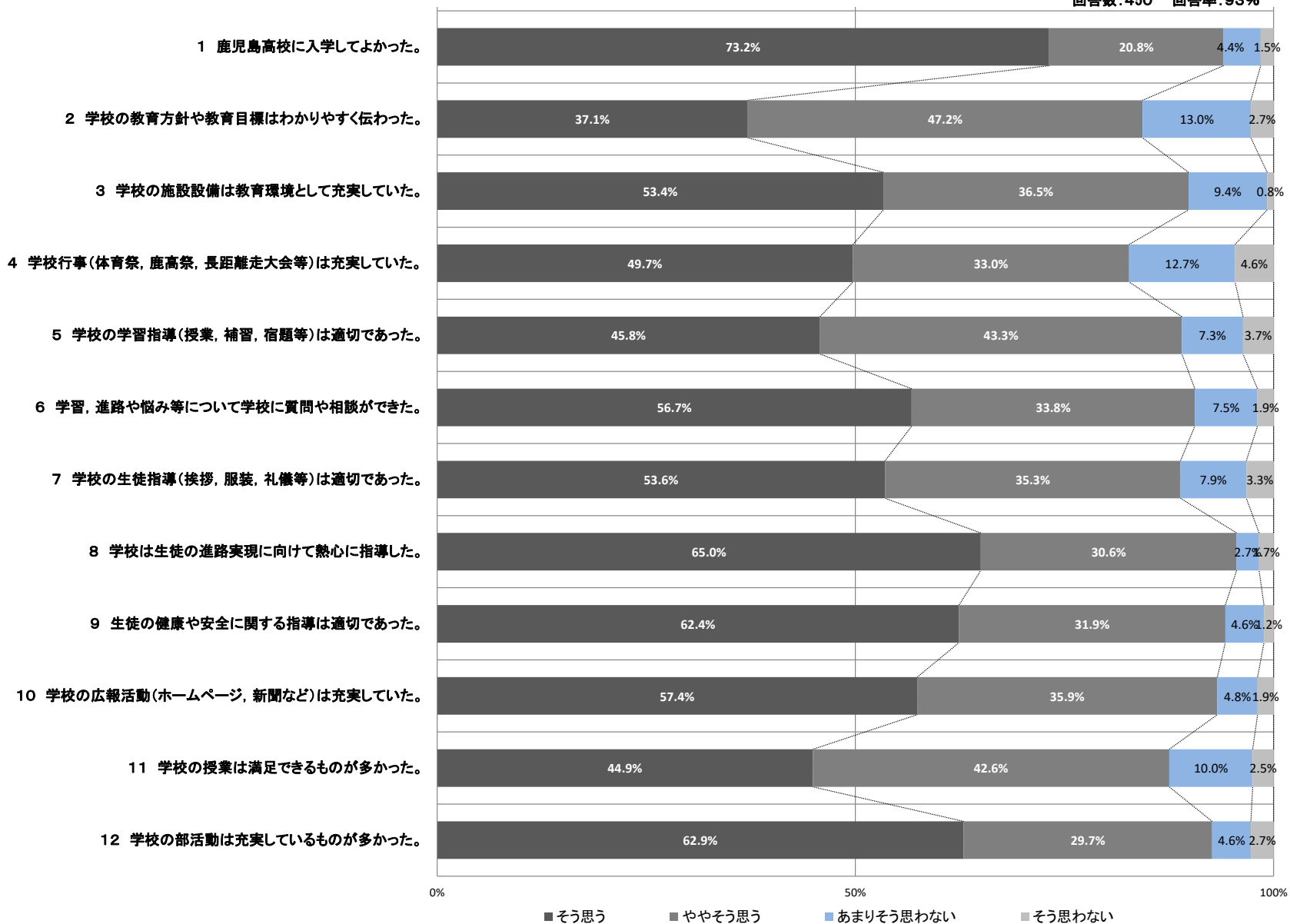


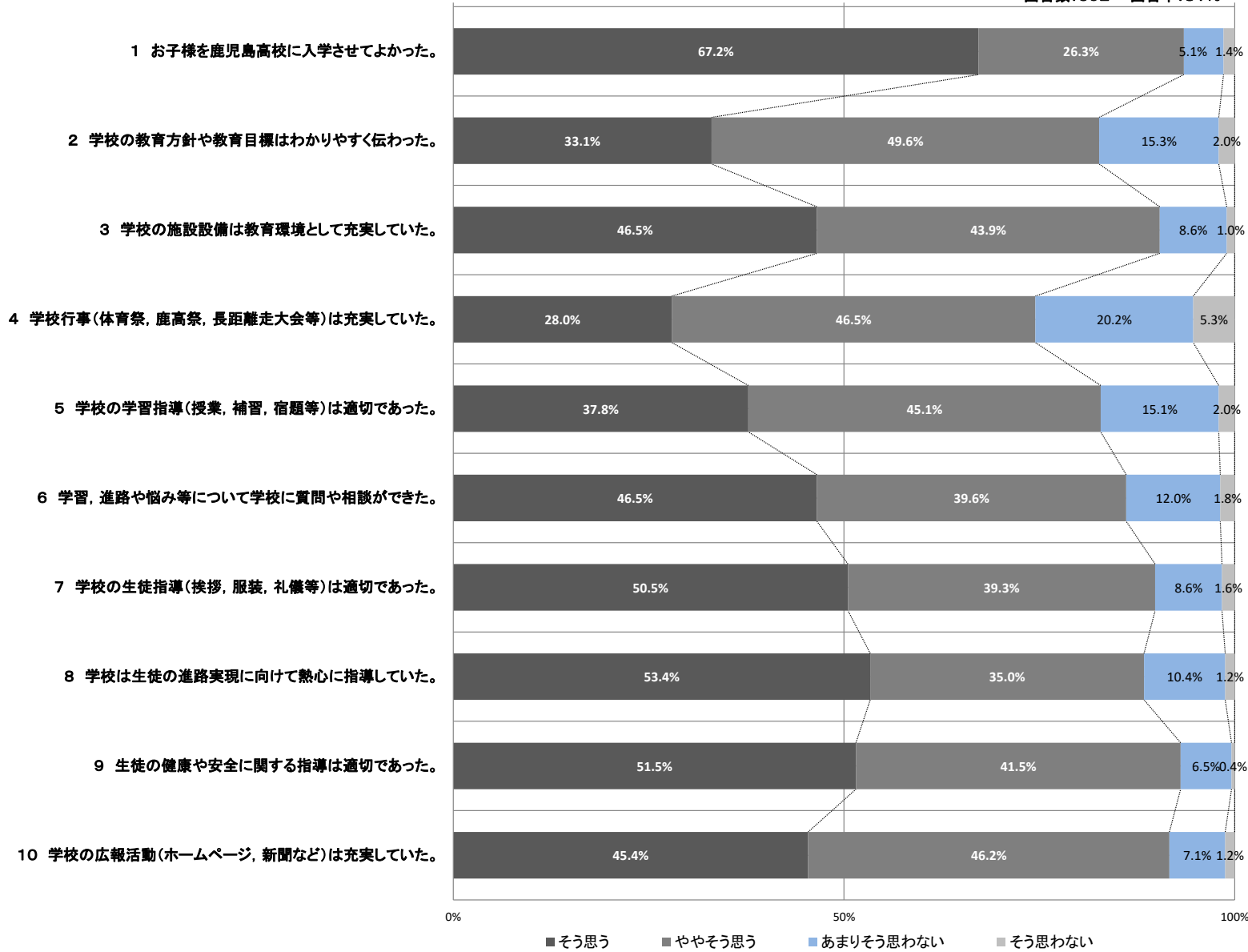
●令和3年度学校評価アンケート結果(生徒)

回答数:450 回答率:93%



●令和3年度学校評価アンケート結果(保護者)

回答数:392 回答率:81%



## 令和3年度 学校関係者評価

<b>1 総合評価</b>	
<b>4.6</b>	<p>○現状の厳しさを変化のタイミングと捉え,様々な工夫をされている点が良いと思います。</p> <p>○コロナ対策など,懸命に取り組んでいる様子が伺える</p> <p style="text-align: right;">AABAB</p>
<b>2 学校行事評価</b>	
<b>4.8</b>	<p>○生徒たちの多様な可能性を楽しめる学校行事。一日も早くできるだけ多くの人たちの前で披露できる日が来ることを願っています。</p> <p>○コンパクトな卒業式も時代に反映して良かった。</p> <p style="text-align: right;">ABAAA</p>
<b>3 生徒指導評価</b>	
<b>4.6</b>	<p>○自転車通学のマナーが話題になった。</p> <p>○資料や説明を通して,先生方の熱意と実績の結実を感じた。</p> <p style="text-align: right;">ABABA</p>
<b>4 要支援生指導評価</b>	
<b>4.6</b>	<p>○熱心に向き合っている姿に好感が持てる。</p> <p>○生徒一人一人に対する様々な対応が素晴らしい。</p> <p style="text-align: right;">ABABA</p>
<b>5 進学指導評価</b>	
<b>4.6</b>	<p>○更に難関校への実績を期待します。</p> <p>○国公立の大学合格を拡大してください。</p> <p style="text-align: right;">ABABA</p>
<b>6 就職指導評価</b>	
<b>4.6</b>	<p>○連続での100%,素晴らしいです。</p> <p>○離職した生徒の追跡調査なども知りたいです。</p> <p style="text-align: right;">ABABA</p>
<b>7 保健安全指導評価</b>	
<b>4.8</b>	<p>○生徒の安全を第一に。</p> <p>○コロナで疲弊されないように踏ん張ってください。</p> <p style="text-align: right;">BAAAA</p>
<b>8 広報活動評価</b>	
<b>5.0</b>	<p>○色々な仕掛けがあって,驚きとともに感心させられる。</p> <p>○3000超の体験入学,今後も頑張ってください。</p> <p style="text-align: right;">AAAAA</p>

4段階評価 A(5点)・・・取組が良い B(4点)・・・取組がおおむね良い C(3点)・・・取組が物足りない D(2点)・・・取組が悪い

## 令和3年度 学校自己評価

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当課	計 画		評 価				
						中間(9月末)		最終(3月末)		
				スケジュール	目 標	※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)	
<b>1 学校ブランド力の向上</b>										
I	生徒・保護者からの満足度向上	多様な進路に対応可能な学校設定科目の構築	普通科	4~1月「未来探求」実施 4~3月 校内協議(毎月1回) 1月ほか アンケート実施	①新カリキュラムの検討編成完成 ②満足度90%以上	B B	コロナの影響あまり受けず進行中 係の先生方のご努力で新カリ完成目前	A B	レポートコンテストで特別賞受賞 係の先生方のご努力で新カリ完成	
		【新規】 ①教育改革に即した難関大合格実績の向上 ②奨学金制度の活用による学力向上の推進	英数科	5~12月シラバス作成と運用の共通認識 12月改善策とりまとめ	入試改革に即したシラバス作成 奨学金と学力向上への意識改革	C B	新カリキュラムに合わせて検討中。 各試験・面談ごとに担任からの指導あり。	B B	探究活動分は完成。教科分は作成途中。 状況に応じた生徒への啓発と運用の適正化。	
		インターンシップの活性化	情報科	7月 インターンシップ実施	①7月実施 ②50社, 140人参加	D	コロナの影響でインターンシップ中止 代替案を検討中	B	インターンシップは実施できなかったが 地域連携事業として城山ホテル鹿兒島様と 商品開発をすることができた。	
		学校評価・学校生活アンケートの活用	教務部	10月 1・2年生徒アンケート実施 11~12月 集計・分析・結果とりまとめ 1月 3年生徒・保護者アンケート実施 2月 集計・分析・結果とりまとめ	肯定的評価90%以上		当初の計画通りアンケート実施予定 (現段階では未実施)	B	一部の項目で、改善の余地はあるが 概ね良好	
II	地域社会への貢献	ボランティア活動の推進	三弧会	通年 ペットボトルキャップ回収作業の実施	掃除の時間に三弧会役員が中心となって回収作業実施	D	キャップを回収しているクラスもあるが学校全体の取り組みとして浸透していないようである。	C	クラスによって取り組みに差があった。小さなことだが、続ける大切さを発信したい。	
			各学年学科	通年 各学年学科ごとの奉仕作業の実施	各学年学科最低1回以上のボランティア活動の実施	D	感染対策の観点から、ボランティア活動の積極的な実施はなかった。	C	感染対策を講じながら、1年情報ビジネス科は学校周辺の清掃活動を行った。	
			三弧会	通年 募金活動の実施	「赤い羽根募金」「緑の募金」等の募金活動への積極的参加	B	4月に緑の羽根募金を行い、21クラスから、25,053円の募金が集まった。	B	積極的なクラスが多く、間接的ではあるが社会貢献活動が実施できた。積極的なクラスが多かった。	
<b>2 先進的な教育課程の編成</b>										
I	語学力・コミュニケーション能力の強化	カリキュラム編成	教務部	4~10月 編成可能な学校設定科目の検討	情報を収集し、編成可能な学校設定科目の検討・決定	B	4月~9月までに6回カリキュラム委員会を実施し各学年での単位数が確定	A	10月には令和4年度入学生から始まる新学習指導要領に基づいたカリキュラムが完成した。	
				12月 新カリキュラム申請						
II	グローバル教育の充実	エンパワーメントプログラムの充実	教務部	4~7月 エンパワーメントプログラム事前指導 8月 プログラム実施	参加者のプログラム後の英語学習に対するモチベーション維持	B	7月までに事前指導を2回実施 8/2~8/6のプログラムは予定通りオンラインで実施できた	A	コロナの影響により、対面型のエンパワーメントプログラムは実施できなかったが、Zoomを利用したオンラインでのプログラムを導入し、規模を縮小して実施できた。	

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか  
主なものを記載してください。

※2 A 優良 (計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))  
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可 (計画未達成(69%以下))

## 令和3年度 学校自己評価

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当課	計 画		評 価				
						中間(9月末)		最終(3月末)		
				スケジュール	目 標	※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)	
<b>3 未来を築く進路保証</b>										
I	計画的進路指導実践と学力3要素の育成	計画的キャリア教育と同一学園との連携の推進	進路指導	6月 3年鹿国大連絡会	参加者80名以上	B	参加者73	B	参加者73	
		7月 3年同一学園エントリー		希望者70名以上	B	同一希望者63+その他10	B	同一希望者63+その他10		
		学力の総合的育成と客観的評価		11月 3年同一学園推薦受験	合格者70名以上	-		B	同一学園推薦・総合進学76	
				7/11/1月1年対外模試	GTZ:普英受験者50%以上のA階層超	B	7月:A超87名/183名47%(目標値充足96%)	C	1月:A超74名/199名37%(目標値充足74%)	
				7/11/1月2年対外模試	GTZ:普英受験者40%以上のA階層超	D	7月:A超44名/173名25%(目標値充足62%)	D	1月:A超36名/172名21%(目標値充足52%)	
				5~11月 3年対外模試	GTZ:普英受験者40%以上のA階層超	D	7月:A超32名/191名16%(目標値充足40%)	D	11月:A超28名/163名17%(目標値充足54%)	
				5月 普・情科全「学びの基礎診断	GTZ:受験者70%以上のB階層超	D	5月:総B超280名/1237名23%(目標値充足33%)	D	5月:総B超280名/1237名23%(目標値充足33%)	
				9~11月 推薦会議の適正運営	推薦合格率80%	-		B	合格218/受験251合格率87%	
				1月 共通テスト受験	普英受験者180名	B	9月説明会参加183名	B	9月説明会参加183名	
				2~3月 国公立受験	国公立出願150名	-		C	国公立出願131名(大・短大)	
				2~3月 国公立大・難関私大受験合	国公立大一般合格/出願35%	-		C	一般合格30名/出願109名28%(目標充足80%)	
II	進路実現に活用できる各種の資格取得	実用英語技能検定特別指導実施	英語科	6.10.1月 実用英語技能検定試験	合格者:準1級5名,2級40名,準2級50名	D	実用英語検定:準1級3/23合格,2級18/87合格,準2級30/74合格。全体51/184合格(合格率28%)	B	今年度の取得状況は,準1級6名,2級113名,準2級280名であった。	
				10月 全商スピーチコンテスト その他のスピーチコンテスト	全学科の参加と3位以内の入賞		スピーチコンテストはコロナの影響でオンラインとなったため不参加		推薦や大学入学の際の課題等で英検受験が課せられるなどして,英検受験率がアップしてきている。次年度も計画的に指導を継続する。	
		実用英語技能検定特別指導等の実施	就職指導部	6月 珠算・電卓実務検定 簿記実務検定						
				7月 ビジネス文書実務検定	全商英検2級以上					
				9月 英語検定・情報処理検定	受験者:10名,合格者:2名	B	コロナの影響で十分な検定指導ができない時期もあったが,現時点では概ね計画通りに実施できている。	B	新型コロナの影響を受ける中,検定自体は計画通り実施できたが,休校やリモート授業もあり検定指導が十分でない時期もあった。ただ,生徒の努力の結果,一定の検定合格者を出し,進路選択に活かすことができた。	
				11月 珠算・電卓実務検定			全商英語検定2級以上3名合格			
				12月 ビジネス文書実務検定	全商1級3種目以上		全商1級3種目以上取得8名(9月時点のため今後増加の可能性あり)			
				1月 英語検定	合格者:13名					
				1月 簿記実務検定・情報処理検						
				2月 商業経済検定						
<b>4 三弧会・部活動のさらなる活性化</b>										
I	三弧会組織の改革	体育祭,鹿高祭,クリスマスマッチなどの生徒主体の企画・運営	三弧会	9月 体育祭	① 生徒主体の運営 ② 種目の精選	B	感染対策を踏まえた種目の精選がなされた。	B	2日間に分けて実施したため,運営に携わる生徒はよく頑張っていた。	
				9月 鹿高祭	① 生徒主体の運営 ② 内容の精選	C	コロナによる行事変更に対応するため,生徒主体の運営は難しかった。	C	動画視聴となった。来年こそは,参加型の鹿高祭を実施したい。	
				7・3月 クリスマスマッチ	① 生徒主体の運営 ② 種目の精選	B	感染対策を踏まえた種目の精選がなされた。	B	例年以上に感染対策が浸透していた。	
II	全国大会で活躍できる部活動の育成	入部率を高め,強化指定部を中心として,部活動・同好会を活性化させる。	三弧会	4月 新入生オリエンテーション		C	部活動紹介は例年より1コマ多い3コマでの実施となった。	C	ステージのみの使用制限があったため魅力を紹介しきれなかった。	
				7月 全国大会出場者壮行会	① 入部率70% ② 全国大会出場部活動目標数7	B	コロナ対策を講じながら実施できた。	B	登壇する生徒数が40人程度と非常に多かった。出場者数は増加している。	
				9月 体育祭での部活動紹介		B	3年生のみの参加ではあるが,実施できた。	B	3年生のみの参加であるが,実施できた。	

※1 具体的取組については,ビジョン事業計画表に記載のもののほか  
 主なものを記載してください。

※2 A 優良(計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))  
 C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可(計画未達成(69%以下))

# 令和3年度 学校自己評価

基本目標・基本的視点・主な具体的取組			担当課	計 画		評 価				
				スケジュール	目 標	※2 A~D	中間(9月末)		最終(3月末)	
							実施状況(スケジュールを主に)		実施結果(目標を主に)	
<b>5 生徒募集の強化</b>										
I	専願入学増を目的とする募集体制の確立	中学校・学習塾訪問 企画・実施	企画広報部	4~3月 中学校訪問 年8回 学習塾訪問 年2回	正確な情報の蒐集と伝達 正確な情報の蒐集と伝達	B	計画通り4回実施し変更点を伝えた。	B	計画通り8回実施し変更点を伝えた。	
		学校説明会 企画・実施		4~11月 4月 発表資料作成 年間 約100校	魅力ある資料制作 魅力の確実な伝達と定着	B	計画通り制作することが出来た。	B	計画通り制作することが出来た。	
		体験入学 企画・実施		4~10月 7・8月 夏の体験入学 10月 秋の体験入学	参加者2500人 受験率100% 参加者500人 受験率100%	A	夏の申込者は3000名を超えたが、 8月はコロナで実施できなかった。	A	秋の参加者は1,400名を超えた。 WEB申し込みなど順調だった。	
		広報物 企画・制作		4~3月 4月 学校案内 校外外向け新聞 SNS・動画の作成活用	県内で最も魅力的な学校案内の作成 最新の情報を魅力的に伝達 ネットや動画を積極的に利用	A B A	例年よりも評判が良い。 計画通り制作することが出来た。 制作会社を変えて評判が良い。	A B A	例年よりも評判が良かった。 計画通り制作することが出来た。 制作会社を変えて評判が良い。	
		II		受験者のニーズに合わせた入試制度改革	公務高入試問題傾向変化への対応	教務部	6~11月 各教科作問者への啓発および本校入試問題への反映	令和3年度入試で変化した公立高校の出題傾向も踏まえた作問	B	8月までに国語、英語の素材検討会終了 10月から各教科のヒアリングを開始予定
<b>6 職員の資質向上</b>										
I	年次別研修の充実	初任者研修・経験者研修の実施	教務部	4~3月 初任者研修 4~3月 経験者研修	初任者における一般指導 10回 初任者における教科指導 8回 (研究授業 2回を含む) 経験者研修における研究授業 1~2回	B	6月に初任者研修(教科指導)研究授業、 経験者研修対象者の研究授業を実施。 8月までに初任者研修(一般指導)を計画通り8回実施終了。	B	当初の予定通り研修を実施することができた。校内授業参観期間を利用して行った研究授業では、教科を超えた授業研究ができた。	
				II	テーマ別研修の充実	【新規】 ICT教育の推進	教務部	5月~9月 ソフトウェア選定 6月 Classi活用拡大 6~9月 Wi-Fi設置 6~9月 タブレット端末購入 5~12月 校内研修 5~12月 他校視察 5~12月 他校視察	運用開始 生徒欠席連絡をClassiに統一 教職員完全配布 購入完了(R4年度入学生) 校内研修 10回(外部研修含む) 朝自習時間によるICT学習の導入	C

※1 具体的取組については、ビジョン事業計画表に記載のもののほか  
 干なものを記載してください。  
 ※2 A 優良 (計画通り(110%達成)) B 良好(概ね計画通り(90%~109%))  
 C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成)) D 不可 (計画未達成(69%以下))

## 令和3年度 学校自己評価

基本目標・基本的視点・主な具体的取組		担当課	計 画		評 価				
			スケジュール	目 標	中間(9月末)		最終(3月末)		
					※2 A~D	実施状況(スケジュールを主に)	A~D	実施結果(目標を主に)	
<b>7 安定した財政基盤の確立</b>									
I	健全財政の維持, 学校教育予算の拡充	事務室	・公的補助金の積極的活用	通年 補助金対象事業の選定と申請業務の厳格化	補助金申請率100%	B	感染症対策補助金など, 適宜, 効果的な活用に努めた。	B	従来の補助金に加え, 感染症対策補助金の積極的活用に努めた。
			・校納金滞納者管理の徹底	通年 毎月の滞納者管理の徹底	3月末の滞納者ゼロ	C	9月末滞納者: 63名 3ヶ月超滞納者: 1名 督促対応の徹底により減少傾向	B	年度内に滞納者ゼロを達成した。
			・業務改善による経費削減・業務効率化の推進	通年 業務改善による経費削減および効率化	業務改善提案年間3件	A	業務改善提案 10件うち実施済6件 経費削減: 425千円	A	業務効率化提案12件のうち実施済9件 経費削減は40千円
		教務部	・転退学者の削減における収入機会の維持	4~3月 教育相談室を中心とした長欠者等への対応	転退学者率 2.5%以下	C	8月までの転退学者数14名	B	教育相談室を中心に, 要支援認定生への対応・声かけができた

※1 具体的取組については, ビジョン事業計画表に記載のもののほか  
主なものを記載してください。

※2 A 優良 (計画通り(110%達成))      B 良好(概ね計画通り(90%~109%))  
C 要改善(計画遅れ(70%~89%達成))      D 不可 (計画未達成(69%以下))